

## はじめに

本市の環境を取り巻く状況として、これまで国・県とともに地球温暖化防止の一環として取り組んでまいりました「住宅用太陽光発電システム設置費補助制度」など再生可能エネルギーの普及につきましては、今年に入り、固定価格買取制度が見直され、その普及促進の鈍化が懸念されています。

また、本市におきましても、利便性向上のためスピードアップされた九州新幹線の沿線において、鉄道騒音・振動による新たな環境問題が浮上し、地域の活性化と環境保全との両立の困難さを痛感したところであります。

このような中、本市では、平成27年1月に八代市環境基本計画を改定し、「環境を支えるひとづくり」を重点目標に持続可能な地域社会の実現に向け、引き続き市民及び事業者等との協働母体となる八代市環境パートナーシップ会議とともに、生活環境の保全や環境保全行動の促進等に係る取組を推進してまいります。

今後とも、快適な生活環境を構築するために、市民の皆様とともに取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。

最後になりますが、本書は、平成25年度に市及び関係機関が調査した結果をもとに、八代市の現況としてとりまとめたものです。多くの皆様に御高覧いただくことによって、本市の環境の現状について理解と認識を深めていただき、継続的かつ積極的な活動を進めていくための一助となれば幸甚に存じます。

平成27年2月

八代市長 中村 博生